

町長就任 3 期目に当たって

日頃より、函南町の行政に多大なるご理解、ご協力、またご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

先の任期満了に伴う函南町長選におきましては、他の立候補者からの届け出がなかったことから無投票となりました。本日、函南町選挙管理委員会より当選証書を付与され、引き続き函南町政のかじ取り役を担わせていただくことを大変嬉しく思うとともに、改めて責任の重さを感じ、更に身が引き締まる思いでおります。

これまでの 2 期 8 年の間の経験で得た知見や感覚を十分に発揮するとともに、初心を忘れず謙虚な姿勢を貫きながら、大好きな函南町のため、また町民の皆様が主役となるまちづくりを行うため、粉骨砕身の精神で町政運営に当たってまいります。

さて、全国的に人口減少、少子高齢化が叫ばれて久しく、函南町も例にもれず、年々人口減少は進んでおります。人口減少は町の財源となる税収の減収にもつながり、町の施策が制約されることも懸念されます。

また加えて近年の物価高騰、人件費の上昇や公共施設の維持管理費、扶助費の増大等、経常的経費も年々増加し財政を圧迫していることから、町政運営を円滑に行うための町財政の確保策を講じることは喫緊の課題となっております。

そこで、町政 3 期目に当たっては、引き続き、事前防災や子育て支援、高齢者・障害者福祉等をはじめ、町民の皆様の安心、安全で快適な生活を守るための施策を行ってまいります。それらの事業の実現のため、将来を見据えた財政基盤の強化についても力を入れてまいります。

そこで重要となるのは、新たな自主財源の確保です。前例に捉われない柔軟な思考、自由な発想により、既存の資源を最大限に有効活用しながら、知恵を絞り、自主財源の発掘に努めてまいります。

また、雇用の受け皿の創出を図るための企業誘致や観光地を活用した集客等、地域の活性化に繋がる取り組みについても積極的に推進していきたいと考えております。

令和8年度は、第六次函南町総合計画の最終年度であると同時に、新たな第七次函南町総合計画の策定の年でもあります。

現在に至るまでの社会情勢の変化や今後の動向を予測し、この先10年間の函南町のあるべき姿、方向性を町民の皆様のご意見をいただきながら示してまいります。

現在、函南町にお住まいの皆様はもちろん、時代を越えて函南町に暮らす皆様が、それぞれの幸福を感じ、安心、安全な生活を続けていくことができるまちづくりを進めてまいりますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和8年3月30日

函南町長 仁科 喜世志